

国際ロータリー 第2550地区

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：K.R. ラビンドラン
 第2550地区ガバナー：中谷 研一
 事務所：〒325 - 0826 宇都宮市西原町142
 宇都宮グランドホテル内
 TEL：028-651-2550
 FAX：028-651-2551
 E-mail：m2550@agate.plala.or.jp



会長：和気 勝利 幹事：秋葉 秀樹
 事務局：(株)帝都 秋葉秀樹
 〒325-0051 那須塩原市豊町13-9
 TEL:0287-62-3131・FAX:0287-62-5455
 E-mail:hideki_akiba@teito-group.co.jp
 例会：毎週水曜日 12:30 - 13:30
 割烹石山 那須塩原市本町5-5

第2732回 和気年度 第46回 会報 2016-6-15 司会 大島三千三君

会長挨拶 和気勝利会長

熊本地震が発生して昨日で2ヶ月がすぎました。現地での復興はまだまだのようですが、嬉しいニュースをみました。

『熊本地震で被災した故郷の力になろうと、神戸大2年生の寺本わかばさん(20)が、大学を1年間休学し、出身地の熊本県西原村でボランティア活動に奔走している。地震から2カ月がたち、住民の悩みに応える情報紙を発行するなど、寺本さんの活動が復興に向かう住民らを励ましている。

「週刊DOGYAN(どぎゃん)」。そう名付けられた情報紙が地震から2カ月を前に発行された。故郷に戻った寺本さんが住民からよく聞いた「どぎゃんしたらよるか...」の言葉にちなんだ。

ごみの搬出や農作業の手伝い、足湯の設置場所 - 。裏表一枚の情報紙だが、住民がボランティア活動で受けられる支援内容などが記される。

寺本さんは地震後、熊本出身の友人らと西原村へ。自宅は壁などが壊れたものの何とか生活できたが、村は多くの家が全半壊。農産物販売所を営む父親も対応に追われていた。「好きな故郷が廃れるのを放っておけない」と、両親の反対を押し切って休学を決めた。

寺本さんは「これから先もさまざまな問題が出てくる。住民が継続的に自分たちで動ける仕組みをつくりたい」と意気込む。』

6月に入り、最近の話題によく出てくるのがクール・ビズですが、「COOL BIZとは、日本で夏期に環境省が中心となって行われる環境対策などを目的とした衣服

の軽装化キャンペーン、ないしはその方向にそった軽装のことを示す造語である。

「ビジネス・カジュアルとも関連が深い」というように言われております。

日本では、2005年第1次小泉内閣第2次改造内閣にて環境大臣に就任した小池百合子氏が内閣総理大臣の小泉純一郎から、「夏場の軽装による冷房の節約」をキャッチフレーズにしたらどうかとアドバイスされ、それ以降、環境省の主導のもと、ネクタイや上着をなるべく着用せず(いわゆる「ノーネクタイ・ノージャケット」キャンペーン)、夏季に摂氏28度以上の室温に対応できる軽装の服装を着用するように呼びかけた。

「クール・ビズ」(COOL BIZ)という表現は、2005年4月に行われた環境省の一般公募によって選ばれたものである。

「涼しい」や「格好いい」という意味のクール(英語: cool)と、仕事や職業の意味を表すビジネス(英語: business)の短縮形ビズ(BIZ)を併せたもので、2005年のユーキャン新語・流行語大賞のトップテンに選定された。

黒磯ロータリークラブでも私の入会当時は、ほとんどの会員がネクタイ・スーツで決めておりましたが、やはり夏前後は涼しい、軽い服装が好ましいように感じられます。

黒磯ロータリークラブでも10年前後前から、ガバナー公式訪問等公式行事以外はノーネクタイOKが提唱されているようです。

皆様はいかがお考えでしょうか。

出席報告 出席委員会 戸野俊介君 (出席規定の適用免除会員数6名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日6月15日	40(6)	32(5)人	8(1)人	84.6%	*	
前回6月8日	40(6)	32(5)人	9(1)人	82.0%	3人	89.7%

欠席の場合は当日9時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128, FAX62-1076(以上石山桂子)

メール qqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

さて私の母は今86歳となり、かなり高齢なため車の運転には以前からかなり心配をしておりました。

そして先日運転免許証の更新時に必要な高齢者講習を黒磯中央自動車学校に受けに行っていました。

かなりの高齢ですので高齢者講習も心配して送り出しました。

そうしたら、88点も取れたと言って喜んで帰ってまいりまして、記憶力と判断力は問題無いと言われたと言っておりました。

これでは、なかなか免許証の返納は難しいなと思っておりましたら、数日前に高齢ドライバーに関するある記事を見つけました。

75歳以上の高齢ドライバーが増えている。自動車免許の保有者は2015年末で477万人。今年中に500万人を超える勢いだ。高齢になると、運動神経が鈍くなり、事故の可能性が増す。認知症の問題も大きい。75歳以上の運転免許保有者のうち、認知症にあたる人が数十万人いるという推計もある。

認知症になると、自動車の運転にも支障が出る。認知症患者特有の運転とはどのようなものだろうか。走行が異常に低速、時速15キロだったこともあります。道路標識を無視したり、逆走したり。バックで自分の駐車場に入れられなくなったり、車幅の感覚を持ってなくてぶつけてしまったり、ですから車の外側が傷だらけということがあります。

車庫入れがうまくできない、ギアの前進とバック、ウイカーの左右を間違えるといった操作ミス。

通い慣れた道なのに間違える、鍵の置き場所を忘れる、などの記憶力・注意力の低下が挙げられる。

さらに、「極端な低速」「赤信号の無視」「歩行者や右折時の対向車を見落とす」という危険な運転。「同乗者と会話しながらの運転ができなくなった」「運転中にささいなことでも激しく怒る」といった事柄も要注意だ。

そうした兆候に気付くと、「異変」を家族に連絡するということになりませんが、様子を見ながら、「免許返納」を勧め、説得するということになるかと思えます。

しかし、生活の一部であり、生きがいでもあるハンドルを諦めてもらうことは、なかなか簡単ではないように思われますし、またこの那須塩原市近辺ではやはり移動手段としての車はなかなか捨てきれない事情があるようです。

会員の皆様は、まだまだそのようなことは無いとは思いますが、一つでも思い当たるところがありましたら、ご注意いただきますようお願い申し上げます。

🌀 幹事報告 秋葉秀樹幹事



【第46回 幹事報告】

ハイライト米山が届いております。
大田原ロータリークラブより会報が届いております。
小山北ロータリークラブより創立30周年記念誌が届いております。

🌀 委員会報告 高木茂副会長

ロータリー情報委員会 月江寛智委員長



クラブ定款では、連続4回欠席は会員身分に関わることで、理事会で対応しなければならない事です。

出席規定の免除には、正当かつ十分な理由による欠席を12ヶ月まで認める権限を理事会に与えられているので、長期欠席にはすみやかに適切な対応をしていただきたい。

会計 上野和昭副会計

- ・第3回和気年度ゴルフ愛好会会費（参加者のみ）
5,000円
 - ・ロータリー手帳（申込者）
648円
- 6月20日栃木銀行より引き落とし致します。

☺ ニコニコボックス 相馬征志君

高木慶一君 6月29日ガバナー補佐訪問よろしく。
佐藤 博君 終着駅。
荒牧明二君 水不足が解消しますように。

卓話 会場監督 (SAA) 委員会
田中徹委員長



本日、閉会の点鐘を聞くと残す例会はあと2回となりました。

例会の運営にいろいろとご不満があったかとは思いますが時間は戻せませんのできれいさっぱりお忘れになって次年度に期待してください。

当初は何 SAA、いやはやとんでもないところに配属されたもんだ！相談もなしに。

などと思っておりましたが私と共に配属された4名の SAA メンバーは実に頼もしい会員ばかりで、ああしよう、こうしようなどと考える前にサッサと例会の準備が整ってしまうのです。

加えて出席委員長さんの見えないところのさりげない協力には感謝しています。これがロータリーの心なんだと改めて感じました。

ここで次年度に向けてお願いがあります。

本来は年度初めに言うべきことですがあえて最後にいたしました。

異論も多くあるとは思いますが、例会を楽しく有意義なものにするのは SAA ではありません。

会員お一人お一人のロータリーに対する心が実のある例会を作るのだと思っています。

どうぞ、小うるさい爺さまのまよい事ととるか、あるいは多くの先輩達の声ととるかはお任せいたしますが頭の隅にでも入れておいて頂ければと思います。

会長挨拶・幹事報告・委員会報告・卓話において若干私語が耳についた時がありました。

聞くときは聞く、話すときは話す、この点も発言者に対する配慮を望みます。

このように SAA として反省しなければならない事もありました。

結果 SAA の責任者として赤点だから次年度も SAA として学びなせ！との意味なのか？ SAA を卒業できず留年となりました。

次年度も宜しくお願いを致します。

三分スピーチ 和気勝利君

****私の関心事****



今年の親睦委員会の行事の一つは3分間スピーチで題目は「私の関心事」ということです。あいうえお順で私が最後のようです。

津久井委員長がトップバッターで坂村真民先生の「念ずれば花開く」という詩によせて、発表されました。

この「念ずれば花開く」という詩は、私も大変好きな新民先生の詩の一つで、真民先生の詩の世界へ入っていくキッカケにもなった詩なのですが、今日は私が最も愛する真民先生の詩をもう一つご披露もうしあげたいと思っております。

今年の3分間スピーチは真民先生で始まり真民先生で終わるということでしょうか・・・

「身体と心」という題名で大変短い詩なのですが、とても印象深く、心に沁みる詩です。

「身体が弱いから心も弱いとは限らない。私は生まれた時から身体の弱い子だったから、強くなろうと念じ心も強くなったのだらうと思う。今はすべてが感謝である」

実は今から約20年前、当時私は仲間と一緒に坂村真民先生の講演を聞くために四国の松山空港に降り立ち、その講演だけを聞くために会場の道後温泉に向かっておりました。

年齢的にも、健康的にも最後のご講演になるのではないと言われておられた時期でもありました。

大変すばらしい講演であったことを憶えておりますが、真民先生のその優しい顔でこんな風によくおっしゃいます。

「あのね、祈ったことが無い人、心の底からね、祈ったことのない人、願ったことのない人、念じたことのない人、そういう人は薄っぺらい人だから、あまり付き合うのは止した方がいいですよ」こんな風におっしゃいます。

正に、真民先生がおっしゃった、祈ったことのない

人、願ったことのない人、念じたことのない人、とは「感謝の心を知らない人」そんな風に真民先生がおっしゃりたかったのではないかと今は思っております。

このすべてに感謝という気持ちを忘れずに、至らない私ですが、今後のロータリー活動を実践して行きたいものだと考えております。

6月15日欠席(敬称略)

安藤譲治・磯勝彦・小野安正・大森貞男
吉光寺政雄・鈴木久雄・高根沢邦夫・深町彰

前回6月8日分メイクアップ(敬称略)

磯勝彦・豊田哲司・高木慶一

次回例会

平成2年6月22日

担当 会長・幹事

近隣クラブ例会日

火曜日	西那須野/いとう家	0287-36-0028	木曜日	大田原/ホテル龍城苑	0287-24-2525
水曜日	塩原/塩原カントリークラブ	0287-35-2211	木曜日	那須/ホテルエピナール那須	0287-78-6000
木曜日	大田原中央/勝田屋記念会館	0287-23-4165	金曜日	黒羽/ホテル花月	0287-54-1105

会報委員会：磯勝彦・齋藤武久・植竹一裕・高木慶一・鳥居輝一・稲垣政一